

☑平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報

☞ 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。

事務事業名	議会運営経費	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	1	項	1	目	1	事業	3
担当部	市議会	担当課	議会事務局	担当係	庶務	係	作成者	倉持 智子	内線(電話番号)	4510	シート作成日	H30.6.1	部長決裁日	H30.6.6		
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 :)		根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 :) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 : 常総市議会の会期等に関する条例, 常総市議会傍聴規則)													

2 事務事業の目的

☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	市議会への市民の関心を高める。	誰・何を対象に	市民等に本会議の情報(映像・文字)を提供及び交際費を公表。	望ましい状態	開かれた市議会が展開されることで、市民の市議会への関心が高まり、市の現状や施策への理解を深めてもらえるだけでなく、市民と市議会がより身近な存在となることで、積極的な意見、要望等に反映され、又市民の監査機能の強化も期待される。これが進むと市民協働のまちづくり、市議会の効果的な運営の好循環となる。
どのような方法・手順で			本会議会議録や議会映像(ライブ中継、録画映像【5年間保存】を市ホームページからシステムへアクセスする事により閲覧、視聴を可能としている。会議録(冊子)及び議会だよりは、議会事務局図書室及び市民が利用する公共施設(図書館、地域交流センター等)に所蔵し誰もが閲覧可能な環境としている。		

3 事務事業の主たる成果指標

☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	会議録・議会映像アクセス件数	単位	件	目標値	18,000	目標年次	平成 32 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	本会議の会議録、及び映像(ライブ中継、録画映像)を配信しており、議案審議や一般質問に対する市民の関心の度合いを計る指標として、システムへのアクセス件数を掲げた。
-----	----------------	----	---	-----	--------	------	----------	-------------------------------------	--

4 事務事業の実績 ㊦

☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度										
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量									
事務事業を構成する主な業務	① 本会議会議日数	32日	① 本会議会議日数	25日	① 本会議会議日数	23日									
	② 随時会議会議日数	7日	② 随時会議会議日数	1日	② 随時会議会議日数	1日									
	③ 本会議傍聴者数	656人	③ 本会議傍聴者数	607人	③ 本会議傍聴者数	410人									
	④ 随時会議傍聴者数	26人	④ 随時会議傍聴者数	43人	④ 随時会議傍聴者数	1人									
	⑤ 議長交際費件数	22件	⑤ 議長交際費件数	37件	⑤ 議長交際費件数	27件									
	⑥ 議員表彰人数	5人	⑥ 議員表彰人数	1人	⑥ 議員表彰人数	2人									
	⑦ 会議録・議会映像配信委託件数	3件	⑦ 会議録・議会映像配信委託件数	3件	⑦ 会議録・議会映像配信委託件数	3件									
	⑧ 会議録検索システム機器借上件数	1件	⑧ 会議録検索システム機器借上件数	1件	⑧ 会議録検索システム機器借上件数	1件									
	⑨ 先進地視察研修件数	2件	⑨ 先進地視察研修件数	6件	⑨ 先進地視察研修件数	5件									
	⑩		⑩		⑩										
	⑪		⑪		⑪										
	⑫		⑫		⑫										
目標値に対する実績値		33567 件	目標値に対する実績値		11468 件	目標値に対する実績値		13964 件							
決算額	計	6,075,249 円	内訳	特定財源 円	一般財源 6,075,249 円	計	5,980,599 円	内訳	特定財源 円	一般財源 5,980,599 円	計	5,485,184 円	内訳	特定財源 円	一般財源 5,485,184 円
	(住民一人あたりの行政コスト)		98 円	(住民一人あたりの行政コスト)		98 円	(住民一人あたりの行政コスト)		91 円						

5 担当者評価 ㊧

☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	ほぼ目標どおり	成果内容	開かれた市議会にするために、議会映像配信(ライブ中継)及びホームページ上での会議録や審議結果の開示等情報発信をしており、アクセス数も確実に伸びている。また、紙ベースでの議会だよりも年4回発行しており、市議会運営を広く市民に周知している。
問題点			映像配信等の委託契約3件及び会議録検索システム機器借上料1件が、それぞれ別契約となっている事から、H30年度に全ての契約を一本化し、かつスクリーンショット(静止画像撮影)機能を導入する事により議会だよりも等の事務の合理化が望まれる。また、導入から4年が経過した映像配信については、システムに不具合が生じた場合、配信の中断になりかねないことから、新たに保守点検を委託する必要がある。

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨

☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
評価理由	平成30年2月定例会議で議会だより編集委員会を常任委員会とすることを決定し、今後一層「開かれた議会」を進める流れである。会議録、議会映像へのアクセス数は確実に増えており、配信システムは、発信する側だけでなく、市民にとっても市議会の情報を得るための重要な手段となっている。議会運営経費における主要事務事業は、この会議録の作成、配信及び映像配信であり、今後もこれを継続する必要がある。なお、平成30年度において静止画像撮影機能を導入したこと等により事業費は若干膨らんでいるが、議会運営経費の概要に変更はなく、「現行どおり」と評価する。

7 実施計画 ㊩

☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	平成30年度		平成31年度		平成32年度				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●本会議会議日数(25日予定) ●随時会議会議日数(2日予定) ●本会議傍聴者数(700人予定) ●随時会議傍聴者数(50人予定) ●議長交際費件数(40件予定) ●議員表彰人数(3人予定) ●会議録・議会映像配信委託件数(9月末日まで5件) ●市議会システム等業務委託件数(10月1日からH31.3月末日まで1件) ●先進地視察研修件数(5件予定) 		<ul style="list-style-type: none"> ●本会議会議日数(25日予定) ●随時会議会議日数(2日予定) ●本会議傍聴者数(700人予定) ●随時会議傍聴者数(50人予定) ●議長交際費件数(40件予定) ●各種行事議長賞状件数(賞状のみ20件予定) ●議員表彰人数(7人予定) ●市議会等システム等業務委託件数(1件予定) ●先進地視察研修件数(5件予定) 		<ul style="list-style-type: none"> ●本会議会議日数(25日予定) ●随時会議会議日数(2日予定) ●本会議傍聴者数(700人予定) ●随時会議傍聴者数(50人予定) ●議長交際費件数(40件予定) ●各種行事議長賞状件数(賞状のみ20件予定) ●議員表彰人数(5人予定) ●市議会等システム等業務委託件数(1件予定) ●先進地視察研修件数(5件予定) 				
	歳出	計	6,727 千円	歳出	計	6,745 千円	歳出	計	6,745 千円
		特定財源	千円		特定財源	千円		特定財源	千円
	歳入	一般財源	6,727 千円	歳入	一般財源	6,745 千円	歳入	一般財源	6,745 千円
予算額	計	6,727 千円	計	6,745 千円	計	6,745 千円			

8 財務アドバイザーの見解

『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

9 行政改革懇談会(市民)の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。更なる開かれた議会になることで市民の関心も高まり、それが議会のチェックとして機能することを期待する。一方で、議員の先進地視察等は、市の何のために反映されているのか不明確である。また、議会だよりの表紙がカラーであるが、必ずしもカラーである必要はないと思われる。このような部分から、経費削減に努めていただきたい。

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪

事務事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
評価理由	議会情報の積極的発信策として会議録の電子版や映像は今日的に有効である。先進地視察の効果を個別に測ることは難しいが、市民のための政策の実現、必要な事業の実施等にあたり、本会議、予算特別委員会、常任委員会の審議を通じて生かされるほか、一般質問にも活用されている。議会だよりについては、常任委員会化される編集委員会での検討を待ちたい。

11 事務事業の改善理由 ㊫

☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容	議会だよりは、議会情報を発信するツールの一つであり、開かれた議会を目指す上で基礎的な事業である。しかしながら、現在、編集作業の大部分を事務局職員が賅っていることから、今後常任委員会化された場合、議員自ら編集を行うことを認識してもらう必要がある。また、事務局職員は議員自身で行うことの限界がないかどうか意識し、ある程度のサポートが必要である。
------	--